

【日本プロテオーム学会通信 No. 52】

2010. 8. 16

【日本プロテオーム学会通信】は、日本プロテオーム学会会員の皆様に配信しています。

【国際シンポジウムのご案内】

第1回国際シンポジウム「臨床プロテオミクスにおける最近の進歩」

横浜市立大学は、科学技術振興調整費先端融合領域イノベーション創出拠点の形成「翻訳後修飾プロテオミクス医療研究拠点の形成」プロジェクトを推進しています。その一環として、下記の日程で第1回国際シンポジウムを開催いたします。質量分析を用いた疾患と関連する情報伝達ネットワークに関する研究で大きな業績を挙げたデンマークの C.R. Choudhary 教授、ヒトプロテオーム機構会長の Y-K.Paik 教授、中国ヒトプロテオーム機構会長 F.He 教授、大阪大学蛋白質研究所高尾敏文教授に講演をお願いしました。日本プロテオーム学会会員の皆様のご来場をお待ちしております。(横浜市立大学 平野 久)

日 時: 2010年9月16日(木)13:00~16:40

場 所: 桜木町県民共済プラザビル1階 みらいホール

横浜市中区桜木町1-1-8-2 県民共済プラザビル1階

(JR 根岸線、横浜市営地下鉄ブルーライン「桜木町駅」徒歩3分、

みなとみらい線「みなとみらい駅」徒歩7分)

参加費: 無料

参加登録: お名前、ご所属、メールアドレスを添えて e-メールで

yamatomo@tsurumi.yokohama-cu.ac.jp. (担当古瀬)まで

定 員: 200 名(先着順)

主 催: 公立大学法人 横浜市立大学

後 援: 日本プロテオーム学会 (JHUPO)

“The 1st International Symposium on Recent Advance in Medical Proteomics”

Decoding disease relevant signaling networks by mass spectrometry-based proteomics

Prof. Chuna Ram Choudhary, University of Copenhagen, Denmark

Novel serologic HCC biomarkers: From a single protein to multiple panel proteins

Prof. Young-Ki Paik, Yonsei University, Korea

Mass spectrometry for analysis of posttranslational modifications

Prof. Toshifumi Takao, Protein Research Institute, Osaka University

Systematic-omics analysis of HBV-associated hepatocellular carcinoma

Prof. Fuchu He, Beijing Proteome Research Center, China

The role of IRF transcription factors in the development of innate immune cells and its relevance to human chronic myelogenous leukemia

Prof. Tomohiko Tamura, Yokohama City University

Structural basis for differential regulation of enhanceosome by chemical modification of transcription factor

Prof. Kazuhiro Ogata, Yokohama City University

【日本プロテオーム学会通信】に対するご意見をメールにてお寄せ下さい

(宛先は [hirano@yokohama-cu.ac.jp](mailto:hirano@yokohama-cu.ac.jp))。ご意見を【日本プロテオーム学会通信】

に掲載希望の場合はその旨お知らせ下さい。

【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問合せ】は、日本プロテオーム学会事

務局([cljhupo@secretariat.ne.jp](mailto:cljhupo@secretariat.ne.jp))にお願いいたします。